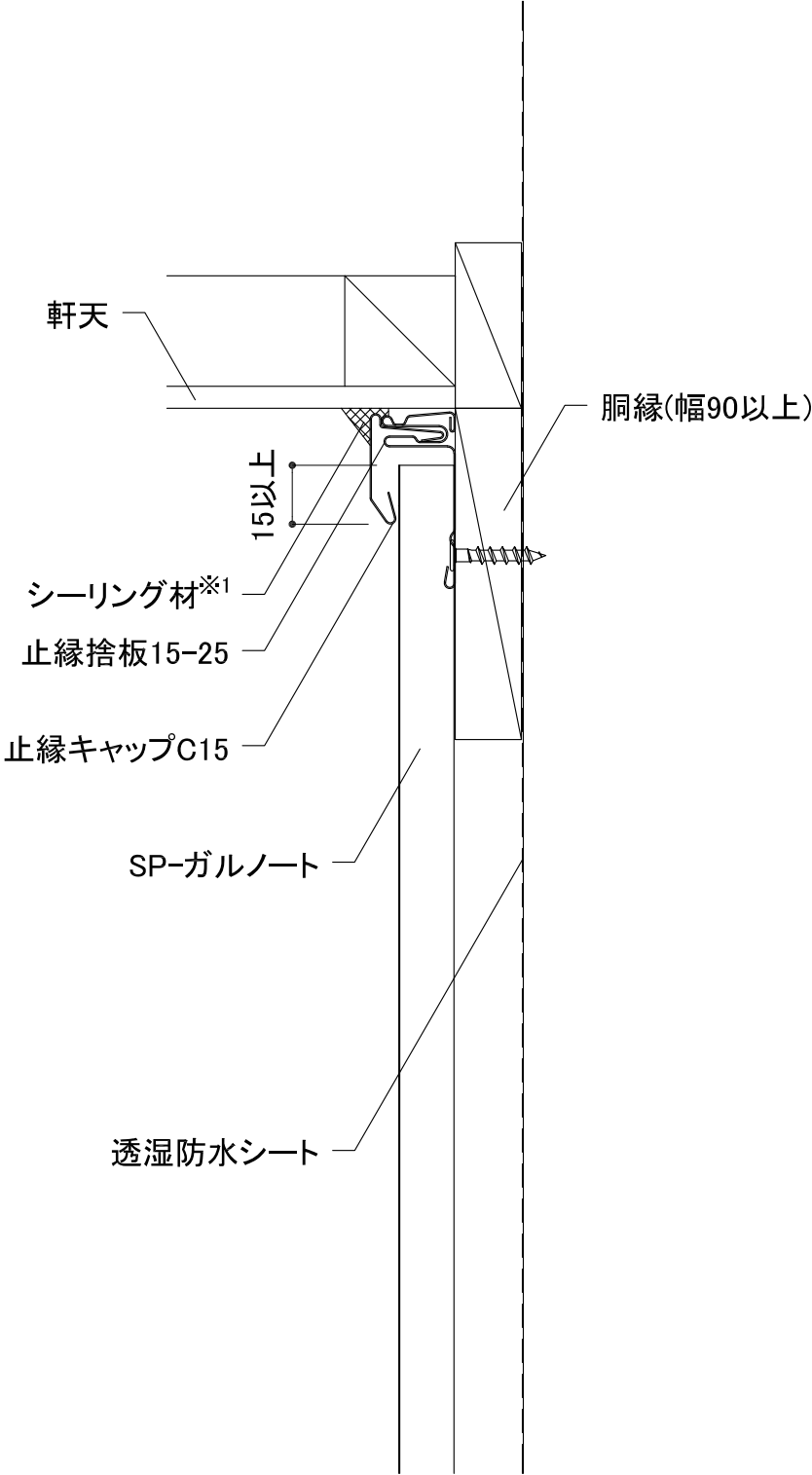
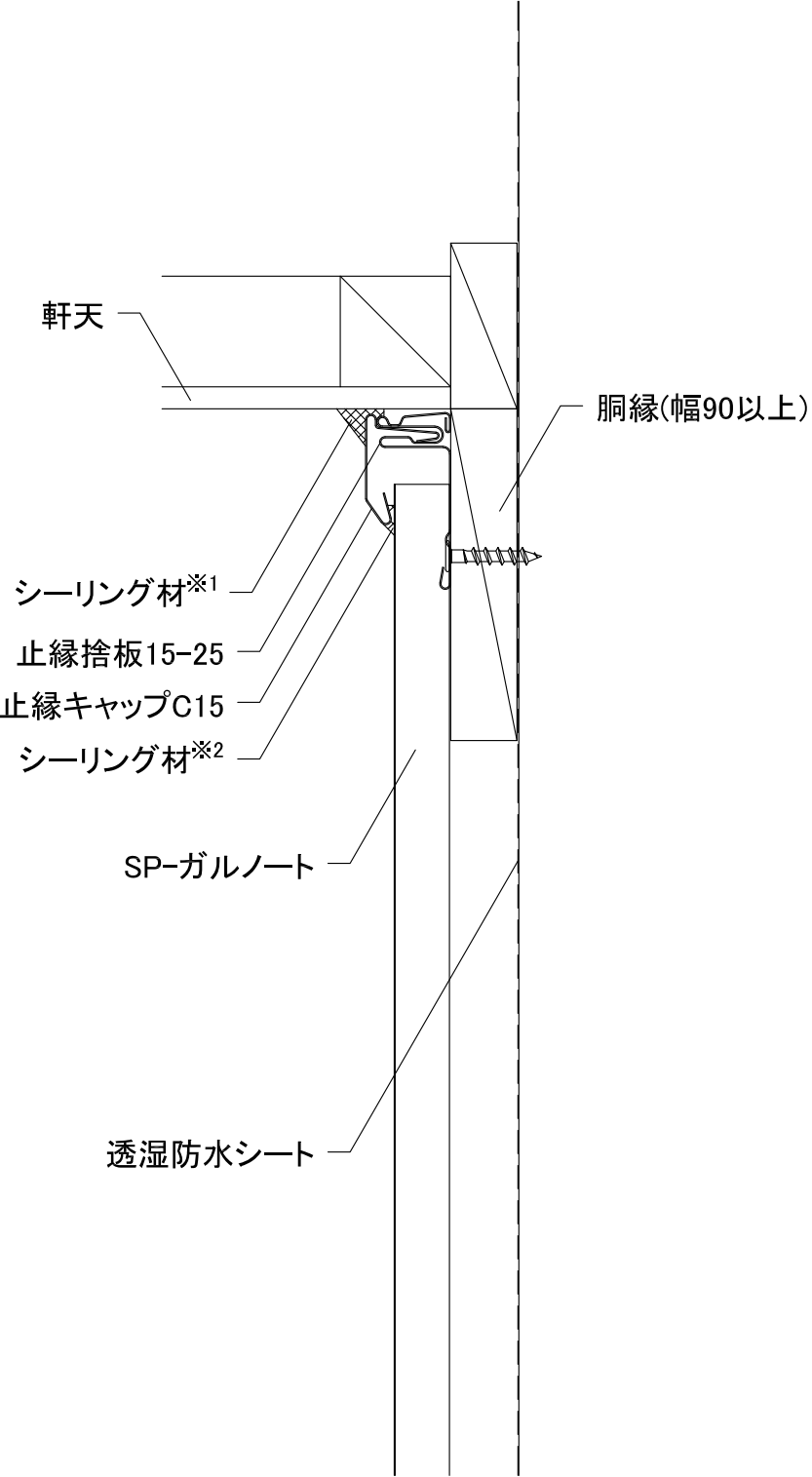




●止縁キャップC15と本体の重なり代が15mm以上確保できない場合



軒の出が300mm未満の場合
・本体と止縁キャップC15の重なり代が15mm以上確保できる場合は、シーリング材※2は不要。
ただし、重なり代が15mm以上確保できない場合は、シーリング材※2の施工が必要。
軒の出が300mm以上の場合
・シーリング材※1、※2の施工および、本体と止縁キャップC15の重なり代を15mm以上確保する必要なし。